

ふれあい鷺山

鷺山校区コミュニティー誌



鷺山のルーツを探る!

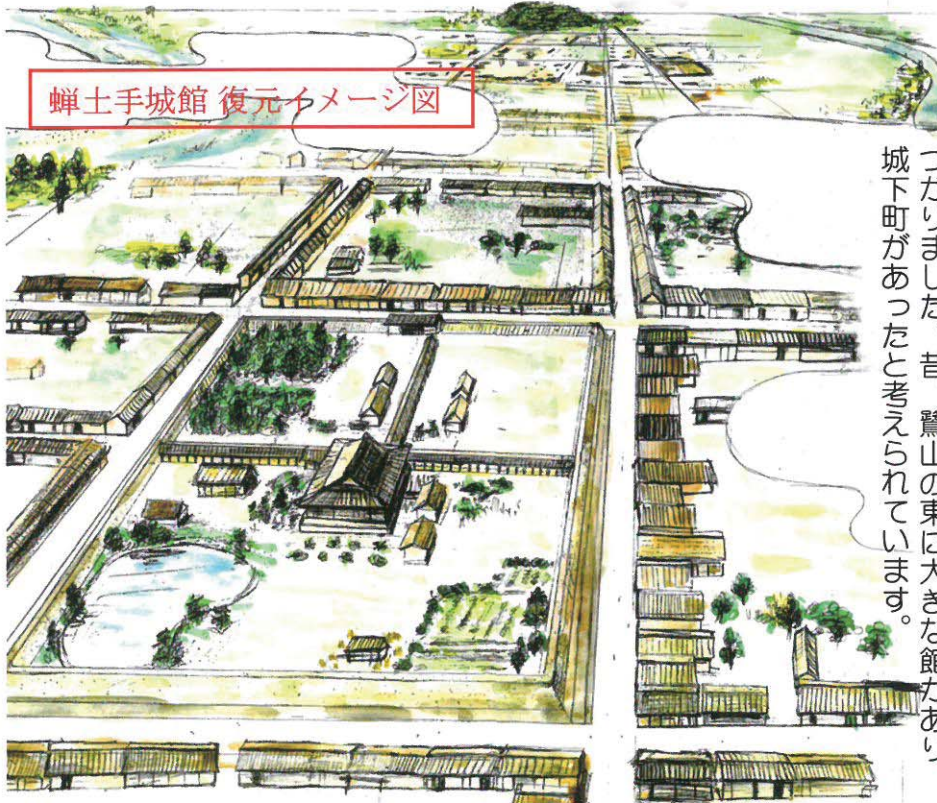
鷺山に大きな館があった

せみどてじょうかんあと

120m四方の「蟬土手城館跡」

鷺山東蟬地内の鷺山蟬遺跡で、120m四方の「蟬土手城館跡」という城館の堀などの遺構が見つかりました。昔、鷺山の東に大きな館があり、城下町があったと考えられています。

蟬土手城館 復元イメージ図



東側から見た120m四方の大きな城館。西奥に鷺山。すぐ北に鳥羽川、南に長良川古川が流れていた。



鷺山校区では、現在数か所で土地区画整理事業が行われていますが、それに先立って遺跡の発掘調査が鷺山、下土居地区で、左図のように六か所で行われています。
“鷺山遺跡群”で行われている発掘調査では、戦国時代を中心とした生活の跡(遺構)や、当時の人が使ったモノ(遺物)が、数多く見つかりました。特に、戦国時代前半に「蟬土手城館跡」という居館跡があったとされており、屋敷の周りをめぐっていたと思われる堀や土塁が見つかりました。城館の西側に入口があり、守護大名土岐氏の福光城下でないかと推定されています。上図が復元イメージ図です。
10月の始め、鷺山蟬遺跡の発掘調査現場が一般公開さ



10/2 鷺山蟬遺跡発掘調査 現地公開

本誌では、地元の貴重な遺跡を、順次紹介していきたいと思えます。

お知らせ

鷺山自治会連合会主催

行事 予定

●新成人を祝い励ます会

17年1月10日(月・祝)

午前10時〜12時

長良川国際会議場

四階 大会議室

該当者 昭58・4・2

翌59・4・1生れの方

次第：式典・記念写真

撮影・恩師と語る会等

西武和田選手がやって来た!

今夏、アテネ五輪に出場した鷺山出身で、西武の和田一浩選手が、11月23日自治会連合会等の招きで、マーサ21へ来場、五輪声援のお礼にトークショウを開きました。会場は五百人を越える人が押しかけ、吹抜けの三階手摺りまで人がいっぱい。

和田選手は、少年時代の思い出などを語り、後輩の鷺山小、青山中の野球部員が練習法などを問いかけました。



盛況 校区文化祭

磨かれた技と芸を発表

11月7日(日曜日)、小学校体育館において、鷺山公民館、鷺山自治会連合会共催の鷺山校区文化祭が開催されました。

作品展は朝から公開、正午から開会式に引き続いて演芸が上演されました。



校区ふるさとふれあいレクリエーション

いれクリエーションが行われました。学童と校区の老人クラブ、青少年育成市民会議、PTA関係者らが一緒になって、昔の遊び(竹とんぼ・お手玉・竹馬作り)を楽しんだ。この後、PTA講演会が行われ、学童らはハーブ石鹸作りに汗を流しました。(マッシン)



11月21日、鷺山小学校で「校区ふるさとふれあいレクリエーション」が行われました。

子どもフェスティバル

11月3日秋晴れの鷺山小校庭で、校区35子ども会の主催で「鷺山校区子どもフェスティバル」が開かれました。有志父親の「親父の会」が餅つきを、老人会がペタンクを子どもと楽しみました。



小学生も参加 クリーンシティぎふの日

鷺山自治会連合会では、市の「クリーンシティぎふの日」運動に賛同し、11月21日に、美しい環境を保全、住み良い町づくりを進めるため鷺山校区内の清掃を行いました。鷺山小学校の児童も「ふるさとふれあい活



動」の一環として参加、一、三年生は各地元で町内の皆さんと、四年生は鷺山公園、五年生は鳥羽川左岸堤防の清掃を各自治会役員等の皆さんと、六年生は校内の側溝清掃を行なった。タイヤ・電気洗濯機・自転車・ソファ等が捨てられており、驚いたり悲しんだり、自分たちの町をお互いに、美しい町づくりへと心掛けましょう。(Y・Y)

美化推進協議会

略称「美化推進」といっていますが、正式には「岐阜市都市美化推進連絡協議会・鷺山支部」。校区の自治会長・連合会から19名、各種団体から7名の26名で構成され、乾支部長を先頭にみんな頑張っています。皆さんが出されるゴミ、分別回収等に携わり、また鷺山校区内の美化、環境等について意見を交え、より住み良い町づくり目指しています。最近の活動は鷺山校区内の台風等で壊れた





青山中学が創立三十年

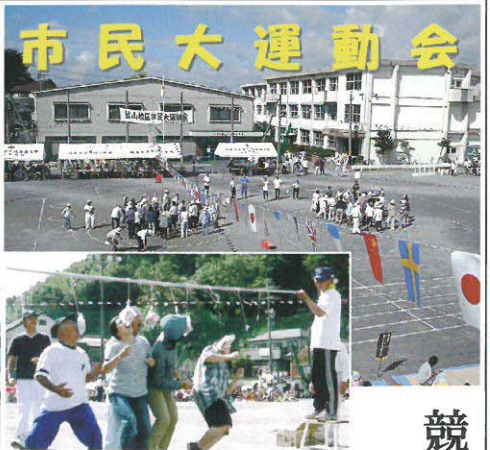
11月20日午後1時半から青山中学校体育館で、同校「創立三十周年記念学習発表会」が、来賓、父兄を招き、生徒全員が主体になって、受付から接待、会場準備、進行まで行つて開かれました。学年ごとの合唱は壮観でした。

青山中学ができたのは昭和50年。鷺山小学校の北は一面の田んぼで、まだ鷺山シヨツピンクもマーサもなかった。青山が出来て三十年かと感慨でした。鷺山も、青山中学とともに発展してきたような気がします。

地域交流会に青山中
地域交流による温故知新

世界イベント村ぎふ地域交流会が、去る10月30日に未
来会館 長良川ホールにて開
催されました。

交流会では、地域の子供達による太鼓、琴演奏なども行われ、鷺山地域からは青山中学校合唱部と選択音楽の授業を受けている生徒三十九名が出演し三曲を合唱しました。



競った 楽しんだ 一二五〇〇人
盛り上がった校区市民大運動会

台風の影響で一日順延した第44回鷺山校区市民大運動会が10月11日、鷺山体育振興会の協力で、鷺山小学校グラウンドで快晴の下、盛大に開催されました。

延べ二千五百名が来場され、網をくぐり、平均台を渡る障害物競走や、鷺山校区に関するクイズに挑戦する「鷺山イース・ノークイズ」、スポーツ少年団リレー、各種団体リレー、目隠しの男性が女性の声に誘導されてリレーする「アベック安全運動競走」、小学生から大人までガリリする「地区対抗リレー」など各競技は盛り上がりを見せ、幼児から大人まで延べ二千百名

余の方々が競技に参加され、楽しい表情を見せていました。

実践隊員の「震災現場での救助法」
鷺山女性防火クラブ 講演会

11月14日(日)午前10時から鷺山公民館で女性防火クラブ主催の防災講演会が行われました。



終演後のお楽しみ抽選会では、鷺山自治会連合会の乾会長が抽選会を行い沢山の景品が配られ楽しい交流会となりました。(H.O.)

自治会を訪ねて

こんにちは



南正木(東・西)
西正木 自治会です



上 西正木(西方向)
右 南正木(東方向、
後方に鷺山)

自治公民館のご案内

②

南正木公民館の巻



岐阜市正木23-1



2階和室

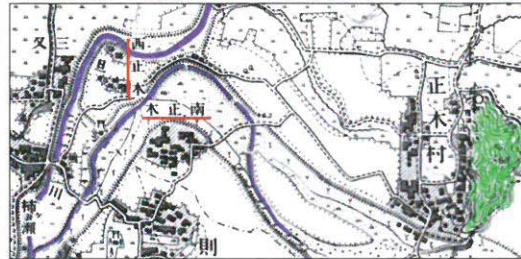
は八畳和室が二間に納戸があります。三町内住民の利

南正木公民館は、昭和60年秋に改築され、南正木東、同西、西正木の三町内で運営されています。一階はホール、二階は八畳和室が二間に納戸があります。三町内住民の利



1階 ホール

用が主体で、利用は正木地区内に限られている。現在クラブ活動等は特にないもよう。



上図は現在。下図は1891(明治29)年図

り、一〇七世帯。現在土地区画整理が行われ、道路幅を広げ、宅地造成が進んでいます。

西正木は鷺山校区の西端、伊自良川の西岸にあり、十七世帯の小さな自治会。下左図のように、伊自良川河川改修以前は西正木も、正木地域と

地続きだったようです。南正木も明治時代からしっかり集落があったようです。南正木は環状道路の西、伊自良川堤の東で、東と西の自治会があり、一〇七世帯。現在土地区画整理が行われ、道路幅を広げ、宅地造成が進んでいます。



正木緑地

南正木の伊自良川河川敷に「正木緑地」が出来ました(写真上)。サッカー場の広さですが、簡易便所以外はどの設備もありません。空いていれば利用できます。また、鳥羽川河川敷には二面のテニスコートがあります(写真下)。



鳥羽川のテニスコート

マラソン 日本一に二度輝いた

山田三郎さん(南正木)



山田三郎さん 5月第四回全日本毎日マラソン大会(現琵琶湖マラソン)で2時間40分32秒で優勝と二連勝しました。

回金沢国体で二位を皮切りに、23年12月の第二回金栗賞朝日マラソン(現福岡国際マラソン)で2時間37分25秒で優勝、半年後の24年



第2回朝日マラソン優勝の賞状



昭24.5.9の毎日新聞紙面

校区を歩く② 森田草平記念館(草平庵)

地元鷺山の誇り「草平庵」(森田草平記念館)は、岐阜市指定史跡。鷺山白鷺町バス停を少し東へ、ガス屋さん脇の小道を北へ百米。手入れの行き届いた広い庭、木立にひそりと佇んで草平庵がある。



草平庵前庭

森田草平は、明治14年3月方県郡鷺山村の農家の長男に生れ、明治28年岐阜市高等小学校(現京町小)を卒業し、十四歳の若さで上京。第一高等学校、東京帝国大学を卒業。帝国大学では、ロンドン留学から帰国した夏目漱石

に接し、大きな影響を受けた。

明治42年1月1日から5月16日まで、東京朝日新聞に初の連載小説「煤煙」を発表し、



森田草平自画像

大きな反響を受け作家としての地位

を築いた。

代表作として、「自叙伝」「輪廻」「十字街」「初恋」など、「豊田秀吉」「信長の死」など歴史小説も多く、草平の作品は、長短篇で、約三百の作品を残しているが、いずれも力作である。夏目漱石門下四天王に数えられる。

ここ、草平の生誕の地に、昭和37年6月、岐阜の経済界や地元の有志による寄付金で「文学碑」が建立されました。



森崎 憲司 館長

た。

碑文には、代表作「輪廻」の1節が次のように刻まれている。



輪廻碑

稲葉の山は、こゝから見ても矢張り美しい金字形をして、一際黒く雲際に聳えてみた。たゞそれが日中だけにや、霞んで見えた。その西の方半里許りの所に平野に取り捲かれながら、牛の臥たやうに横たはつてゐる丘陵がある。それが迪也の生まれた村の西手にある禿山なのだ。その東麓に彼の生まれた家もあれば、そこに母親も住んでゐるのだ。彼はそれを眼にした時、何となく自分が遠方へでも来て居るやうな気がした。

明治当時の鷺山の「こゝ」(操舟橋)からの様子が書かれている。

昭和42年11月に「草平庵」が竣工し、草平の著作作品、原稿、遺品を展示して来館者に紹介しています。



草平庵内



日用品遺品

「煤煙」初版本

(元自治会長・森田草平記念館館長 森崎 憲司)

入館希望者は、事前にお電話を下さい。058-232-2147

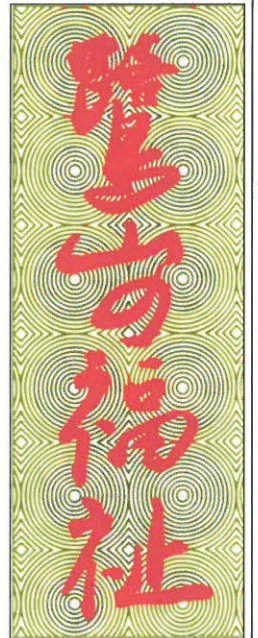
鷺山字名(あざな)めぐり

仙道(せんどう)

昔、仙人が通ったという道ではありません。鷺山小学校の東に二か所、西に一か所、「仙道」の地名が残っています(岐阜市土地字絵図典)。地名の由来は、奈良・平安時代、この地域を、古道七道(官道)の一つ東山道(とうさんどう)が、都から近江・美濃・飛騨・信濃の国と、今の中部山岳地帯を通っていました。その道の名残りが「仙道」(山はセンとも読む)という地名が残っています。



だから、この地域以外にも、東山道が通った所には同じ地名がみられます。(H・K生)



第15号
発行
社福協鷺山支部
☎231-0040

平素皆様方には福祉活動にご理解とご協力を賜り、民生委員・児童委員心より厚くお礼申し上げます。12月からの担当地域委員をご紹介します。(担当区域・氏名・電話)
鷺山民生委員・児童委員協議会
会長 梅田英太郎 副会長 大竹富子

千草町北・緑ヶ丘新町一〜三

梅田英太郎 231-8712

若水町北・南・西・玉川町

松前 廣重 231-2050

下土居西・東(第一)・鷺山新町

加藤 茂春 232-8095

千草町南・若草町・正木コーポ

一村 時子 263-6349(勤)

月見町・緑ヶ丘・緑ヶ丘新町四

村橋 洋子 231-9770

上土居・下土居東(第二・三)

久保 宣男 232-4676
下土居青山

鷺山一・水門町・北野町

草平町一・二
森田 好靖 232-7949

正木栄町・川島町・操舟町

若山 恭子 231-7905
光陽町

鷺山本通二・三・鷺山二南

橋本 富子 232-9188

鷺山清洲町四〜七・鷺山本通一

富野 静子 232-3248

鷺山二北・鷺山三・四

北川 澄代 231-6828

正木中組・北組・明和町

梅田 道子 231-2608
正木北町

正木一・二・山手町・山本町

山内 正子 232-4007

蝉東・蝉西

高瀬 佐恵子 232-4474

南正木東・西、西正木

大竹 富子 232-3490

向井町・向井東町・西向井町

長谷 二保子 231-9917
城見ヶ丘

鷺山清洲町一〜三

小林 明美 231-3729

古川町・西古川町・白鷺町

木田 鉄子 231-8189

主任児童委員

青木 小夜古 231-2666

主任児童委員

北川 かず子 231-9712

民生児童委員は援助を必要とする人が日常生活を営むことができるように相談に応じ、助言、援助を行う。(民生委員法)

ふれあいサロン 開催



鷺山地区のふれあいサロン

「閉じこもり」をなくそう

《鷺山地区》
鷺山地区のふれあいサロンは10月15日、鷺山自治公民館でなごやかに開催されました。寝たきり・痴呆につながる「閉じこもり」を予防しようという地域での取組みで、六〇名の参加がありました。

第一部は「琵琶の演奏」で筑前琵琶大師範の古田旭龍先生が「若き敦盛」「椎葉情緒」を奏で、琵琶独特の音色と美声をはりあげて熱演され皆さんの大きな拍手を頂きました。

第二部は野村 由(老人クラブ連合会長)さんが内容の濃い健康相談、手や体を動かす体操から頭の体操・更に上手に老いていく「ツ」などを親しみをこめてにこやかに話されました。(T.K)

健康相談とふれあいの場

(餅つき大会) 《古川地区》
古川地区は10月22日若水公民館で、六六人の参加者を得て行われました。始まる前に全員、北部ふれあい保健センターの説田淳子保健師の血圧測定を受け、健康相談を行いました。

説田さんの「体と心の健康づくり活動」のお話をこまめに手や指を動かしながら聞き、身体をほぐすことから始め、ついで社会福祉協議会の松野友子さんから、お餅をおいしく頂くためには、口をよく動かさなければと、口と舌を使った運動を交えた健口講座でリラックスマードを高めました。

自治会長が交代でついたお餅もつき上がり、日赤奉仕団と民生委員さんがぜんざい、黄粉餅、おろし餅などにして全員でおいしく頂きました。



ふれあいサロン(続)

古教照心 輝く老後ピン・しゃん・ピンの輝く人生

《正木地区》

正木地区のふれあいサロンは10月25日に正木公民館で、六五名の参加を得て行われました。

気軽に楽しく集ってもらえる場としてこのサロンを設けました。大いに楽しんで下さいという主催者の挨拶で始まりました。

はじめに、社協の松野さんから「転ばぬ先の杖」の題で、男性と女性では転んだ時のけがの状態が異なる



が、転ばぬために股関節を丈夫にしようと言うことや、いざという時は大きな声を出して助けを呼ぶことが大事であることなどの話がありました。

ついで、正木在住で第二回福岡マラソン優勝者の山田三郎さんの優勝時の思い出話に耳を傾けた後、演芸部門に入りました。

演芸は長良川鵜飼観覧で鵜飼紹介のナレーションをやっている横田栄子さんの民謡から始まり、江差追分、伊勢音頭などの民謡、大脇さんのグループの三味線で黒田節を全員で合唱し、日置自治会長の斉太郎節、小林弘光さんのカラオケなどが続き、最後にビンゴゲームで締めくくり楽しいひと時を過ごしました。

大きな声で話し・笑おう

《緑ヶ丘地区》

緑ヶ丘地区は10月28日に緑ヶ丘公民館で三九人の出席を得て行われました。

主催者から閉じこもりをなくすため、このようなサロンに来て大きな声で話し、笑って過ごそうとの挨拶があり始めました。まず、保健師の説田さん



から一人暮らしは外に出ないと笑うことが少ないので、サロンに来て大いに笑ってくださいと、指を使った頭の体操をやってみるなを笑わせ、冬にかかる病気の予防について話されました。

ついで社協の松野さんがいざという時は大声を出す者が助かるので、日頃から大きな声を出すことを心がけ、と同時に身体全体を動かすことも大切と言われ、キャベツの歌などで体を動かしました。

野村 由老人クラブ会長からは、生涯青春の気持ちを持ち、音楽に親しみ、おしゃれをして健康に過すよう色々なトンチを交えた勉

強で、笑い声に包まれ頭の体操を行いました。最後にビンゴゲームを楽しみ、好きな賞品をいただいて終了しました。

健康な身体を作り

《清洲地区》

清洲地区は11月12日に清洲町公民館で、五四人の参加をえて行われました。

主催者から「今年は台風や地震などの多くの災害に見舞われた年です。このように災害にあった時は先ず自分で自分の身を守ることに必要です。その時のために日頃から近所つきあいを良くしておき、身体を鍛え



ておきましょう。ふれあいサロンはその場です」との話がありサロンが始まりました。

サロンは健康づくりアドバイザーとしてお迎えした社協の松野さんの「ぼけ予防のために」や保健師の説田さんの「風邪にかからないために」などの健康講座を簡単な体操をしながら聞いて頭と身体をほぐした後、風船回しゲームや告白ゲームなどでサロンを盛り上げ、ビンゴゲームを行って楽しい一時を過ごしました。

最後に主催者から防災に対するお年寄りの考え方を聞くためのアンケートお願いの挨拶があり終了しました。



開催にあたり各地区とも自治会、民生児童委員、日赤奉仕団、老人会などの皆様にご協力を頂きました。

御礼申し上げます。

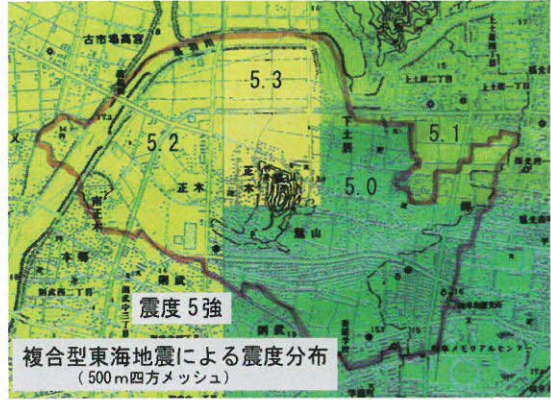
社会福祉協議会鷺山支部



岐阜市では岐阜県が公表した「岐阜県東海地震等被害想定調査」から岐阜市における地震動分布図、液状化危険度分布図等を作成しています。複合型東海地震については「広報ぎふ」の9月15日号に掲載されていますので参照して下さい。

二つの分布図を拡大し、鷺山校区及びその周辺がどのような震度になり液状化の被害を受けるかを紹介します。

鷺山校区の受ける想定震度はすべて5強（震度階級解説表参照）ですが、その中で地域によって若干の差があります。



す。震度は鷺山の北側がもっとも大きくて5.3、正木から緑ヶ丘にかけては5.2、鷺山、下土居、蟬、古川、清洲などが5.0と小さくなっています。

下土居、鷺山新町、正木北町付近は同じような地形なのに何で震度が違うのだろうか？と疑問があると思いますが、この図は500メートルメッシュ（枠）を組み、その枠毎の地盤調査資料で検討している概要図なのです。

地盤調査資料が多ければ、もっと正確な震度分布図が描けると思われます。

また、震度はこの図のようにメッシュの線に沿ってきれいに別れることはありません。震度が異なる境界付近の方は大きい震度に対する対策を考えて置かれた方がよいと思います。

震度5強では・・・

◆人は、非常な恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。

◆屋内では、棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。たんすなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。一部の戸が外れる。

◆木造建物は、耐震性の低い住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。

液状化危険度分布図を見ると、正木北町付近とマサの西側付近とが液状化指数が15以上で高い地域、正木北西と蟬の北側が5～15とやや高い地域になっており、その他は白地になっています。白地になっているところは

液状化の心配がないのではなく、それを判断する地盤調査資料がないと言うことです。この地域にも液状化危険度の高いところがあると思われるので、「液状化とは」という表を参考に十分注意してください。(A・K)

液状化とは

- ①地下水を含む地盤が地震動で泥水のようになる現象
- ②地表面直下に砂層がある地域の地下水位が高い地盤に起こりやすく平野を中心に発生危険度が高くなる傾向がある。
- ③発生か所 埋立地、昔の河道を埋めた土地、砂丘や砂州の間の低地
- ④被害内容 泥水より比重



の大きなものは沈み、小さなものは浮き上がる
 具体的被害例
 ・上下水道管、ガス管などの地下埋設管の浮き上がり
 ・マンホールや浮き上がり
 ・沈下防止の基礎工事のないビル、重量構造物の沈下
 ・ガソリンスタンドなどの地下タンクの浮き上がり

編集後記

本誌もおかげさまで、評価いただき、第2号の発行が早まりました。

本号も盛りだくさんで、記事が込み合ってしまった。校区内ではいろいろな活動が行われています。貪欲に拾っていききたいと思っています。

一面にも書きましたが、鷺山校区は貴重な歴史の宝庫です。今後、遺跡をわかりやすく取り上げ、興味を持って頂くきっかけになればと思います。

知ることがコミュニケーションの始まりです。身近なニュースをお知らせください。(T)